

Discussion Paper No. 20
Toyota Technological Institute

特集
『メタ倫理学の最前線』

Discussion Paper No. 20
Toyota Technological Institute

特集
『メタ倫理学の最前線』

豊田工業大学

目次

まえがき	1
『メタ倫理学の最前線』全体について	伊勢田哲治 3
メタ倫理学におけるヒュームとヒューム主義	鵜殿憩 11
理由で倫理学をするということ	安倍里美 33
伊勢田氏への応答	蝶名林亮 51
伊勢田コメントに対する応答	安藤馨 63
メタ倫理学におけるヒューム的精神	
——伊勢田氏と鵜殿氏のコメントに対する応答	萬屋博喜 71
行為の理由、生命倫理、内在主義と外在主義	
——安倍氏と伊勢田氏のコメントに対する応答	杉本俊介 81
Michael J. Sandel, <i>The Tyranny of Merit</i> の書評	浅野幸治 91

まえがき

2020年9月12日（土）に開催した京都生命倫理研究会では、蝶名林亮編『メタ倫理学の最前線』（勁草書房、2019年）を取りあげて合評会を行いました。そのときには、伊勢田哲治さんと鶴殿憩さんと安倍里美さんの3人に批評をしてもらいました。また著者からは、蝶名林亮さんと萬屋博喜さんと杉本俊介さんの3人に応答してもらいました。今回は、以上の6人に加えて、合評会には出られなかった、著者の安藤馨さんにも批評に応答する文章を寄稿してもらうことができました。おかげで、非常に気合の入った『メタ倫理学の最前線』特集ができたと思います。

最後に、ほとんどオマケとして、私が書いた Michael J. Sandel, *The Tyranny of Merit* の書評を載せておきました。

浅野幸治